

真言宗 御室派 薬園山 長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

第 332 号



昨年来の新型コロナ禍も、ワ
クチンによって克服への光が見
えてきた。どうか円滑に事が進
んでもらえればと願うばかりで
ある。またその先、即ちコロナ
後の世界をどう生きてゆくか、
課題がそこにある。

人間社会は今、グ
ローバル経済が推し
進められる一方、政
治面においてはその
反動に揺れている。
政治も経済も、人間
が幸せに暮らすため
に私たち人間が絞り
出した知恵であるは
ずなのに、現代はま
るで政治と経済が人
間を支配しているか
のようだ。

とりわけ科学技術の進歩によ
るところは大きく、インターネ
ットやスマートフォンによって
私たちの生活は大きく変化し、
そしてそれらへ加速度的に依存

おもむ
り 理 に 趣 く

ひ と も し

している。膨大な情報が一瞬で
世界中に共有される今、その情
報処理の知能競争に勝つ者こそ
が富を得て、敗者は沈み込んで
ゆく。格差は益々開くだろう。

我が宗では情報や知能を「智
」として扱う。智の尊格
を表す智法身とは金
剛界大日如来である
一方、胎藏大日如来は
理法身、即ち「理」の
尊格である。そして金
胎两部の曼陀羅を「理
智不二」——どちらも
同様に大切にせよ、と
いうのが大師の教え
である。

知性は確かに大事
ではあるが、理性を失
った知性ほど怖いものはない。
テクノロジーが闊歩する現代だ
からこそ、そこに生きる私たち
は「理」を堅持しなければなら
ない。般若理趣三昧——日々、
理に趣くべきである。(龍)

池田綱政公由縁の観音菩薩

奉修 白須賀観音供

7月17日(土) 18時30分~

毎年恒例の「白須賀観音供養 夏まつり」は今年、新型コロナウイルスの流行
状況を鑑み、ステージ、屋台出店等のイベントは行わず、除災招福を祈念す
る法会のみを奉修いたします。檀信徒皆様には、どうぞお参り下さいませ。

弘法大師尊像修復開眼法会



四月二十一日弘法大師縁日、樂陽廟での合同追悼法会「春秋祭」を奉修するとともに、当山に伝わる弘法大師像の修復開眼法会を行いました。

当像は明暦元年（一六五五）、当山第四世審教阿闍梨が発願し、岡山の仏師片岡文右衛門が彫った尊像で、以来当山檀信徒先祖代々が手を合わせてきました。

経年による傷みのほか、一度上塗りの修繕が施されているこ



修繕前



修繕後

ともあり、この度の修復では一度すべての膠を取って解体、そこから再度組み直し、色付けも一からやり直しました。作業の際、尊像頭部内より審教阿闍梨が書いた『般若理趣経』の写経が発見され、当時の人々の願いにも触れることができました。そして今春、見事に美しい御姿でお戻りなられ、晴れて開眼法会を迎えたという運びです。皆様にはぜひ、大師縁日（毎月二十一日）にご参拝いただき、新たなお大師さまに手を合わせていただければと存じます。

光政と蕃山 寺子屋文化講座

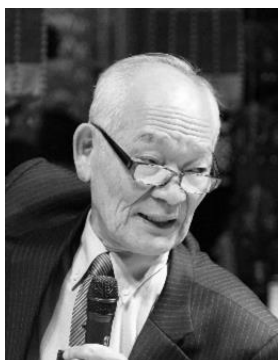


新型コロナウイルス禍によりしばらく休講しておりました「寺子屋文化講座」を四月十九日、講師に森熊男先生（岡大名誉教授・閑谷学校顕彰保存会評議員）をお招きし、開講しました。なお、コロナの影響を鑑み、定員を予約先着二十五名と限定させていただきました。参加者皆様には検温、マスク着用、消毒などをお願いした上での実施となりました。講師の「クマ先生」こと森熊男先生は、大学での教鞭のほか著書や論文の執筆、各種講演な

ど、岡山の教育界に多大な功績を残されている方であり、ご存じの方も多いかと思えます。先般には、山陽新聞社より『クマ先生と読む論語』という新著も出版されています。

そんなクマ先生の今回の講座は、岡山の教育のスタートとも言える「光政と蕃山による岡山藩初期の学風」についてのお話でした。岡山藩における人づくりの思想（朱子学を中心に）、また光政公と蕃山の出逢いから別れ、そして津田永忠を含めた三人だからこそ成し得た奇跡について、まるでクマ先生の身体にこの三人が宿っているかのような、そんな気持ちのこもったご講演でした。

次回もどうぞお楽しみに。



森熊男先生

万灯万華供養「本尊大祭」



毎年恒例の万灯万華供養「本尊大祭」は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、時間と規模を縮小した形で開催しました。

檀信徒各家精霊に回向を捧げるため、本堂には多くの「灯」と「華」の供養を施し、開白（5月5日）から三日三晩、ご開帳された本尊薬師如来の御宝前に計九座の理趣三昧法会を奉修。5月8日には、法縁ある寺院三ヶ寺にご助法いただき（例年は

岡山市内結衆寺院様方にご出仕いただいております）、小規模ながら至心に結願の法楽を捧げさせていただきました。また、YouTubeでもご活躍中の大本山須磨寺副住職・小池陽人僧正にオンラインで法話をいただき、参拝者皆さまにも喜んでいただきました。

檀信徒各家精霊の菩提、並びに御先祖代々の倍增法楽を至心に祈念申し上げる次第です。



正しい日本語仏教

真言宗 名譽位職 光研

文字には約束、決まりがあり、天地には法則、定まりがあります。文字を自分で作ることはできず、法則は変えられません。

日本語「かなもじ」は古代インド語、中国語をうまく使つてできあがつており、その意味は深長で豊かな感性に満ちています。

たとえば、「諦（あきら）め」は物事を中断したり断念するという意味で用いられますが、本来は真理を「アキラカニミル」ということです。釈尊が説いた四つのアキラカニミル「四諦」は、

苦 一切は皆「苦」である
集 原因は「集」にある
滅 それが「滅」ついたら
道 ついに八正「道」を得る

ついで四諦の「道」（＝修行）にあたる「八正道」は、

- ① 正見 正しく四諦を見る
- ② 正思惟 正しく考え判断する
- ③ 正語 正しいことばを発する
- ④ 正業 正しく実践する
- ⑤ 正命 正しい生活を送る
- ⑥ 正精進 正しく努める
- ⑦ 正念 正しい信念を持つ
- ⑧ 正定 正しく集中する

大乘仏教では、空（＝はてしない）なる空間と、無（＝とどまらない）なる時間を「アキラカニミル」ことが解脱、解放の肝要となります。そしてその修行によって、様々な執着や悩みも「ほどけ」てゆく。やまとことばの「仏」の語源です。

続

点字版 おかんき 刊行

当山ではこの度、目の不自由な方々のために、点字版の仏前勤行次第「おかんき（お看経）」を作成しました。

そのきっかけとなったのは今春、視覚障がいのある方が喪主をされたお葬式を、二件続けて勤めたことです。いずれも、「おかんき」はせずとも通夜、葬儀と無事に勤めることはできませんでした。しかし満中陰、初盆、一周忌、三回忌・・・と法事は今後も続いていきますし、何よりも喪主様が普段ご自宅で「おかんき」を唱え、自らの読経を以って故人に供養を捧げていただく、ということを考えて、点字版の



「おかんき」はなくてはならないものだと感じた次第です。

当初は探せばどこかにあるものだと思っていたのですが、調べてもなかなか情報がなく、手に入れようがありません。だったら作るしかない、ということとでさっそくに取り掛かり、今般の完成、刊行に至った次第です。

作成にあたっては、社会福祉法人岡山ライトハウス就労継続支援B型事業所ワークランド虹様において、目の不自由な方々ご自身が点訳や印刷、製本作業を行って下さいました。

今後、全国にこの点字経本が普及することを目指し、多様性の時代にふさわしい宗教活動のひとつとして取り組んでいきたいと考えております。

皆さまには、どうか当活動を応援していただけると幸いです。

また、当経本が必要な方は、当山へお気軽にお問合せ下さい。無料でお渡しいたします。

岡山・長泉寺 点字版の経本普及へ

宗3カ寺の経本も作製中。宮本住職は今後、同宗派の総本山・仁和寺（京都市）

真言宗御室派の長泉寺（岡山市北区南方）が点字版の経本を導入した。視覚障害者が喪主の葬儀を執り行った同寺の宮本龍門住職（39）が発案。「目が不自由な人でも十分に供養できるように広めたい」と普及を進めている。

点字経本はB5判、176。従来の縮書きではなく、点字の読み方に合わせて横書きにしたほか、弱視の人向けにはお経の活字を大きく記す工夫も施した。

宮本住職は1、2月、家族を亡くした視覚障害者が喪主を務めた葬儀を行った。その際、お経が上げられずに悔いた様子の喪主を目の当たりにし、「視覚障害者もしっかり読経できるように」と思い立ったという。発展途上国の子どもたちの視力回復を支援するNPO法人・ヒカリカナタ基金（同大元上町）を通じ、点字出版などを手掛ける就労継続

視覚障害者も読経を



長泉寺が導入した点字版の経本を手にする宮本住職

支援B型事業所「ワークランド虹」（同今）に作製を呼び掛け、全国約800依頼。これまでに30冊が完了寺での活用を促すほか、成し、1月に同寺で家族の他宗派への利用拡大も目指し、葬儀をした全旨の鈴木鈴子（61）＝同東古松＝は安心して経を唱えられる人「供養の手立てができ、うを増やしたい」と話している。寂しいときは仏壇を、経本は1冊10円。問いに向かい、お経を唱えたい。合わせはヒカリカナタ基金と経本を手を喜ぶ。（086-242-353 同事業所では県内の真言5）（阿部竜也）

令和3年度 総代会総会

長泉寺第十五期総代会（総代長・岩見徹氏）は先月、新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、今年度の総会を書面にて行いま

した。

昨年度の事業・決算及び監査報告、並びに今年度の事業予定等について、原案の通り承認されました。

ボランティア基金便り

6月1日、長泉寺ボランティア基金より岡山市へ、新型コロナワクチン接種の円滑な普及に役立てていただくため、寄付をさせていただきました。当日は、総代の丸山惣一さんと金田勉さんとで目録を市に持参し、岡山市保健福祉局感染症対策局長様にお渡ししました。

長泉寺ボランティア基金は、



仏教精神に基づく「善心の連鎖」、「人類共生の願い」をテーマに、長泉寺開山五百周年記念事業のひとつとして平成十六年に発足しました。寺務所に常設している募金箱に檀信徒の皆さんや一般参拝者に募金をしてもらうほか、特定の災害救援ではお寺便り等を通じて勧募するなどして基金を集めております。

20年近く被災地に寄付 長泉寺基金(岡山)

岡山市北区南方、長泉寺の檀家総代会でつくる「長泉寺ボランティア基金」が、全国の災害被災地などへの寄付を20年近く続けている。その総額は約780万円。各地で大規模災害が相次ぎ、新型コロナウイルスでも人々の生活が脅かされる中、「平穏な日常を取り戻すための一助になれば」との願いを込めている。(阿部竜也)

日常取り戻す一助に



100万円の巨額を贈る中央から丸山金田さん、聖本住職

同会は2004年9月、5年後に控えていた長泉寺の建500周年記念事業の一環として、災害や貧困などで苦しむ人々を支援しようと発足した。寄付金は檀家に協力をお願いして集めているほか、境内に常設する募金箱に寄せられた浄財も活用。これまでに東日本大震災(11年)や西日本豪雨(18年)の被災地に贈ったほか、スリランカの孤児院支援なども充ててきた。

岡山市へ100万円 支援対策

昨年以降、「災害救助も言われている新型コロナ」が県内でも猛威を振るう中、基金を感染防止対策にも役立ててもらうことを計画。今月1日には、岡山市に100万円を贈るため、同会丸山惣一さん(78)と金田勉さん(72)、同寺の宮本龍門住職(39)が市役所を訪れ、宮地千登世(20)らに「巨大地震などの大災害に備えて活動を続けていく」とい、宮本住職は檀信徒の協力を呼び、被災地を支援していきたい」と話している。

発足以来、RNN人道援助宗教NGOネットワークの活動を中心に、主なものだけでも新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害などの国内災害のほか、平成十六年のスマトラ島沖地震、平成二十二年のハイチやチリでの地震、平成二十三年のニュージージーランドやトルコ東部での地震などの国外災害、さらにはスリランカにおける孤児支援やネパール・ブー

タン難民キャンプ救援、ロヒンギャ難民支援なども行ってきた。この度、新型コロナウイルス感染症によって困難な状況にある多くの方々にとって希望の光とも言うていい「ワクチン接種」がどうか円滑に普及して欲しいとの願いから、総代会で話し合い、百万円という金額を拠出することにしました。岡山市におけるコロナ対応費用の全体からすればごくわずかな額ではあり

ますが、檀信徒の皆様が少しずつ寄せて下さった浄財によって一人でも多くの命が救われること、そして一日でも早いコロナ克服、元氣な岡山市が戻って来ることにつながればと願っております。檀信徒皆様にはどうか引き続き、長泉寺ボランティア基金会の活動へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

大師蘇生讚歌

三野の大師の 南方

御影も験き 有明の

月に参りし ご縁日

そのかみ列を つらねたり

ときは明暦 元めなる

和尚納めし 理趣経文

大楽金剛 なる秘経

宗祖の音声 聴こえたり

令和三年 大師像

面目一新 再修す

あな有りがたや 南無大師

遍照金剛 大日尊

四月二十一日再開眼法会 光研

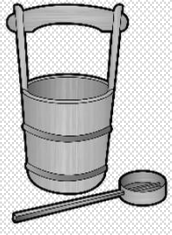


霊精各家信徒檀 回向

盂蘭盆総供養法会

8月15日(日) 9時~10時 受付8時半~

お時間までにお位牌をご持参ください



平和の鐘をならそう！

八月十五日(日) 正午~

主催 岡山ユネスコ協会

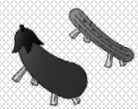


ご先祖・萬霊供養

施餓鬼法会

八月二十一日(土) 午前十時半~ 於 当山境内

詳しくは別紙申込み用紙をご覧ください



毎月一回 客殿で開催中

■45回目

7月23日(金祝)

13:30-16:00

■46回目

8月22日(日)

13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています
どなたでもお気軽にご参加ください(参加無料)
※コロナの状況によって、変更になる
ことがあります。事前にお問合せください。



長泉寺 将棋クラブ

いづみ ペーパーレス化

可能な御方に限り、『いづみ』のペーパーレス化にご協力いただいております。※すでにご登録をいただいたお方には感謝申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、下記アドレスまでお名前とご住所をご送信下さい。

idumi@chosenji.net

岡山市仏教会が8月16日に予定しておりました「灯籠流し」は中止となりました。